



動物の生存環境を改善し QOL を高める、動物用トクホの開発 希少動物や家畜の保健・福祉・保全に役立つプロバイオティクスの研究

技術分野分類 7601：動物生産科学

技術キーワード 腸内細菌、プロバイオティクス、採食エンリッチメント、乳酸菌

産業分類 A-12：畜産農業

内 容	概要	腸内細菌は動物種ごとに異なっており、その動物種に特徴的な「共生腸内細菌」が存在する。特に野生草食動物は、食する野生植物を自身の腸内細菌が持つ酵素によって分解し、時には無毒化することによって栄養としている。我々は、このような野生動物の腸内細菌の持つ有用な性質に着目し、希少動物や家畜の保健・福祉・保全に役立つプロバイオティクスの開発を進めている。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	養鶏で使われているプロバイオは人用の転用であるが、野生鳥類に由来する生菌である点に優位性がある。本技術（動物用トクホ）を導入することで、既存の畜産物であっても、薬剤汚染のない、「安心・安全」で動物福祉に配慮した畜産物の生産、希少動物の保護が可能となる。
	本技術の有用性	<ul style="list-style-type: none"> 保護野鳥（ライチョウ）の雛の生存率が向上。 近縁家畜種（鶏）に有用なプロバイオティクス。
関連情報 (図・表・写真等)		<p>図1. 野生ニホンライチョウの乳酸菌投与試験(体重の推移)</p>
適用可能製品		<ul style="list-style-type: none"> 鶏卵、鶏肉、その他キジ目家禽（ウズラ・七面鳥） 動物園で飼育されている希少動物
技術シーズ 保有者	氏名 所属・役職	土田 さやか 創発学術院・特任講師
技術 シーズ 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	中部大学 研究支援センター 0568-51-4852 (直通) / 0568-51-4859 kensien@office.chubu.ac.jp

■知的財産

■試作品状況



提示可

提供可

作成日 2020年9月24日